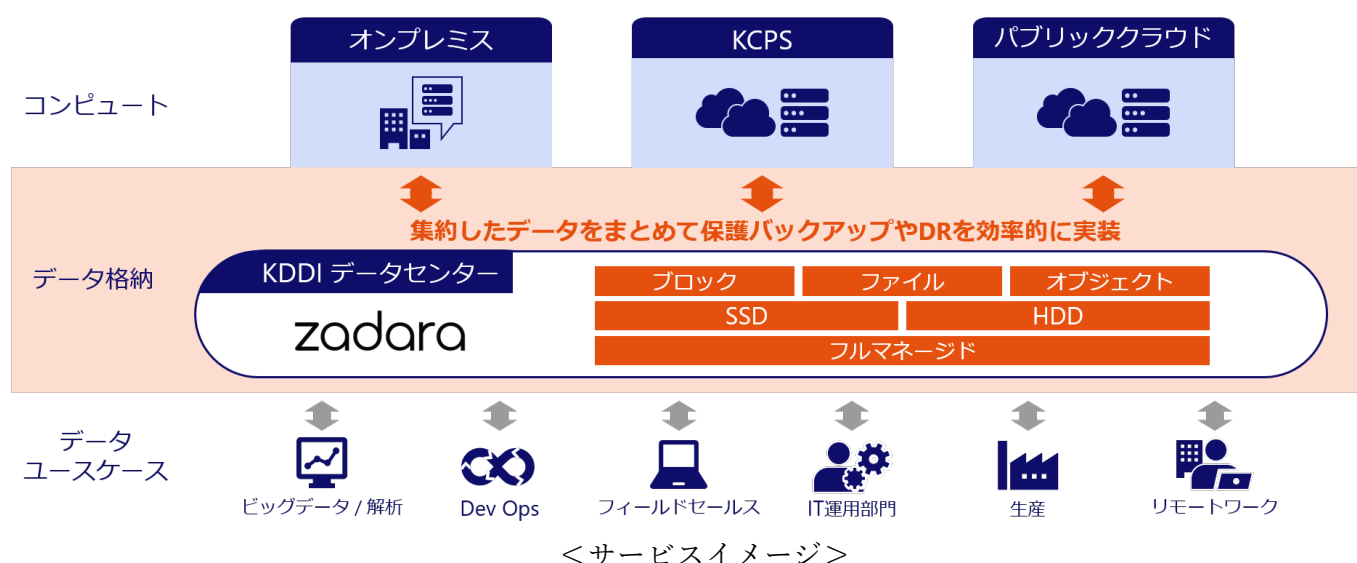


## 複数のクラウドサービスでのデータ共用により マルチクラウド活用を支援する「Zadara Cloud Storage」を提供開始 ～クラウドストレージの拡張性・柔軟性で、企業における効率的なデータ管理を実現～

KDDI は、データ量に応じてオンデマンドにストレージ容量を使用できる拡張性や柔軟性を備え、複数のクラウドサービス間でのデータ共用により企業のマルチクラウド活用を支援するクラウドストレージサービス「Zadara Cloud Storage」(以下 本サービス) を 2020 年 11 月末から提供開始します。



### ■背景

- ・企業が保有するデータの保存先として、必要な分だけオンデマンドに利用することができるクラウドストレージサービスの採用が広がっており、国内企業のデータ保有容量に占めるクラウドの比率は、2020年では44.4%、2023年には51.3%に達する(注)と想定されています。
- ・マルチクラウドやハイブリッドクラウドの拡大により、企業のデータが複数の環境に分散する状態が発生し、データの効率的な管理やセキュリティの確保といった課題が発生しています。また、各パブリッククラウドの特長を活かし、目的に応じて最適なクラウドサービスを選択することが一般的となるなか、企業においても集約したデータをどこに保存・管理するかが課題となりつつあります。

### ■本サービスについて

- ・本サービスは、契約時にまとまった投資をすることなく、データ量に応じてオンデマンドにストレージ容量を使用できる拡張性や柔軟性を備えたクラウドストレージサービスです。
- ・複数のクラウドサービスにデータを分散して保存するのではなく、本ストレージに集約して保存することで、バックアップや災害対策などのデータ保護をまとめて管理することができ、効率的なデータの管理・運用を実現します。また、用途に合わせてデータを最適なクラウドに持ち込んで処理すること

により、各パブリッククラウドの特長を活かした形でデータ処理を行うことができ、データの効率的な利活用と企業のマルチクラウド活用を加速させます。

- ・さらに、物理ストレージを KDDI の高品質なデータセンターで管理・運用するとともに、閉域ネットワークサービス「KDDI Wide Area Virtual Switch (以下 WVS)」や「KDDI Wide Area Virtual Switch2 (以下 WVS2)」と直結しているため、WVS・WVS2 と接続するオンプレミスのサーバーや各種パブリッククラウドなどとの間でも、高いセキュリティを維持したままデータを連携することができます。

Zadara Storage Inc (本社: 米国カリフォルニア州、CEO: Nelson Nahum、以下 Zadara)の CEO であるネルソン・ナナム氏は次のように述べています。

「法人企業においては、経済的かつ運用負担を軽減するエンタープライズストレージが求められています。Zadara Cloud Storage によって、KDDI のお客さまは、ストレージのタイプに関わらず、ニーズの変化に応じていつでもスケールアップ・ダウンが可能な、オンデマンドで、かつ最適で柔軟なマルチクラウドストレージのメリットを享受いただけると思っております。我々は、KDDI とのパートナーシップ拡大に期待しています」

KDDI は、「通信とライフデザインの融合」を推進し、"社会の持続的な成長に貢献する会社"として、法人のお客さまのビジネスに貢献し、新しい体験価値を創造していきます。

詳細は、別紙ご参照ください。

Zadara Cloud Storage (URL: <https://biz.kddi.com/service/cloud-data-center/zadara/> )

## ■本サービスについて

### 1. 特長

#### (1) 拡張性の高いストレージをオンデマンドに提供

- ・Zadara は、グローバルで銀行をはじめとした金融機関や政府機関など含む 250 社、300 以上のデータセンターにおいて、エンタープライズ向けストレージサービスを高品質で提供・運用している実績があります。
- ・1 つのストレージシステム上で、一般的にストレージで利用されるプロトコル（ブロックストレージ、ファイルストレージ、オブジェクトストレージ）をいずれも利用することができます。

#### (2) 高いストレージ性能とセキュリティ

- ・本サービスは、Zadara の Virtual Private Storage Array 技術により、オンプレミスサーバーのように SSD・HDD を物理的に専有で利用することができるため、エンタープライズ基準の性能・セキュリティを担保した形で利用することができます。

#### (3) KDDI 提供によるセキュリティ・運用品質向上

- ・ストレージへのデータの送受信経路として、閉域ネットワークサービスである WVS・WVS2 との接続を標準提供しているため、データを保管するストレージだけでなく、送受信するデータそのものに第三者から不正にアクセスされるリスクを防ぎ、安心して利用することができます。
- ・お客さまからの障害・問い合わせ窓口として、KDDI のクラウド運用窓口をご用意し、24 時間 365 日で対応します。
- ・Zadara のストレージサービスの運用では、セキュリティや可用性についてグローバルの第三者認証として SOC2 (Service Organization Control 2) を取得しています。今後、お客さまに安心・安全にご利用いただけるよう KDDI のデータセンターの設備においても、SOC2 認証を追加で取得予定です。

### 2. 提供開始日

2020 年 11 月末

### 3. 提供料金

ストレージ利用料金と WVS 接続料金を合わせて、月額料金で提供します。

#### 料金内訳

区分	課金単位	説明
①ストレージ利用料金	時間あたり	ストレージの利用量に応じた利用料金 ※1 時間未満の利用は切り上げ
②WVS 接続料金	月あたり	WVS 接続利用に関する利用料金 ※KCPS や WVS2 のクラウド接続併用時は無償

#### 料金モデルケース（月額料金は、31日間で換算）

##### (1) モデルケース1：HDD 6TB（RAID1）をご利用の場合

区分		1時間あたりの料金	料金（税抜）
①ストレージ 利用料金	仮想コントローラ 200	63.70円	47,392円
	ディスク SATA 6TB * 2本 ※RAID1	52円	38,688円
②WVS 接続料金		—	100,000円
合計			186,080円

##### (2) モデルケース2：KCPS 併用、SSD 実行容量 15.36 TB（RAID10）をご利用の場合

区分		1時間あたりの料金	料金（税抜）
①ストレージ 利用料金	仮想コントローラ 400	128.70円	95,752円
	ディスク SSD 7.68TB * 4本 ※RAID10	468円	348,192円
②WVS 接続料金 ※KCPS 併用		—	0円
合計			443,944円

#### 4. お問い合わせ

KDDI 法人営業担当者または法人お客さまセンターまでお問い合わせください。

<法人お客さまセンター>

 0077-7007（無料）  0120-921-919（無料）

受付時間：9:00～18:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

（注）出典：「Japan IT Market 2020 Top 10 Predictions：グローバル経済における「デジタル優位」は近い」（IDC # JPJ45565119JPJ45137820）からの引用

以上